

サクラパックスを見学して

令和元年12月09日
オフィス毛利 毛利春雄

12月4日、TCC研修会（富山）で「サクラパックス」という会社を見学しました。いくつか印象的な言葉を聞きましたので、簡単にまとめてみました。

<特に印象に残ったこと>

◇笑顔のために

お話の中で、長い歴史を持てる会社は創業・経営理念が確立している会社だと思い、自社も存続するためには、志・理念が大切であり、これを伝えていくためには『文字化』しなければと考えました。自社は、パッケージを作っているが、これが届けられる事によって見ることが出来る『笑顔』のために、日々を過ごして行くのです。

誰かの笑顔のために生きていく→笑顔のために

◇CMは従業員を意識して

また、テレビCMを映し「テレビコマーシャルを流していますが、これは、第一義的には従業員のために流しているのです」と言われました。

「自社の従業員がCMを見て、この会社が『ウチ』なのです、と自信をもって語れるように、CMを流しています」。と言われました。

誇れる会社と言うことは簡単ですが、どのように表現するかとなると、なかなか解らないのです。CMを従業員のために、なるほどと思いました。

◇ふるさと自慢

最初に、「市長から、必ず市の宣伝をするようにと云われているので」と断り、富山の自慢（立山連峰）、名産（ほたる烏賊、鱒寿司）、特産品（チューリップ）などの話をされました。市長からと云う言葉はいらぬように思いました。私も自己紹介の時には「パールシティの神戸」と始めます。

誰もが、地元の良さをアピールして地元を知っていただく事が、活気ある場を作るのです。



写真 1



写真 2

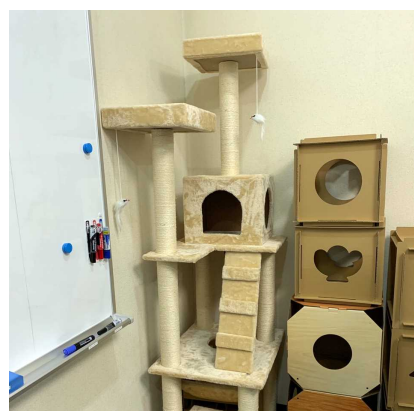


写真 3



写真4 集合写真

写真1は、サクラパックスの研修室で。写真2は、パッケージの打ち合わせをするサクラパックスの社員とメンバー。写真3は、「キャットタワー」こんなモノも作っています。写真4は、会社の前での集合写真。

サクラパックス、橋本淳社長ほか担当者の方々
見学を付き添っていただき有り難うございました。